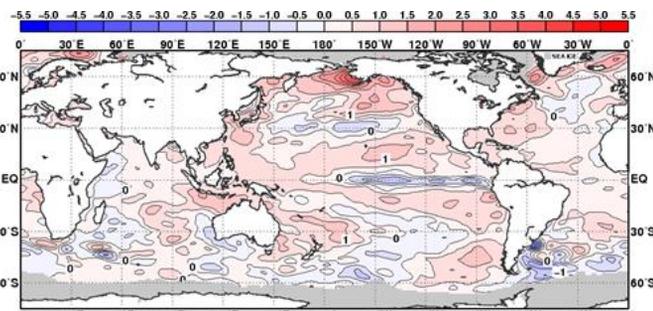




## 海況 (2.5)

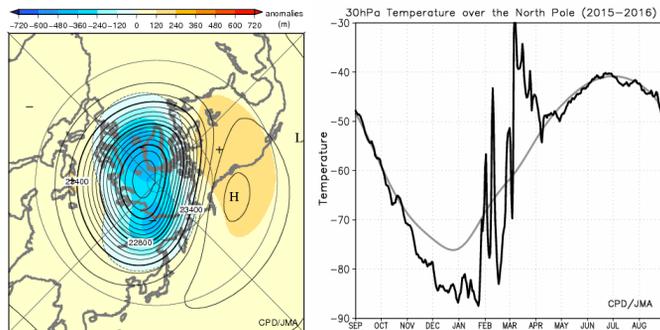
全球平均の海面水温は、夏までは記録的な高温となりました。2014年夏に発生したエルニーニョ現象は、2016年春に終息しました。



6~8月の海面水温偏差  
暖色は平年より高いことを示す

## 北半球成層圏 (2.6)

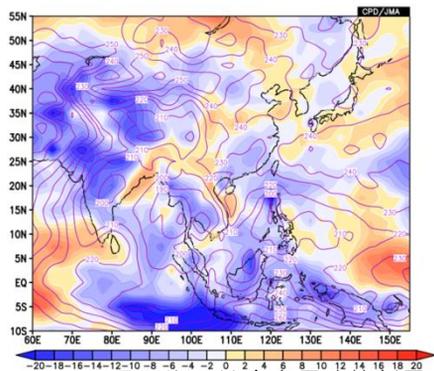
成層圏の極うず（左図の寒色部分）は冬平均では平年に比べて強くなりました。冬季~春前半の期間中、2度の突然昇温が発生しました。



30hPa高度(2015/16冬) 北極点上空30hPa高度における気温の時系列  
\*北極を中心にした図

## アジアモンスーン (2.7)

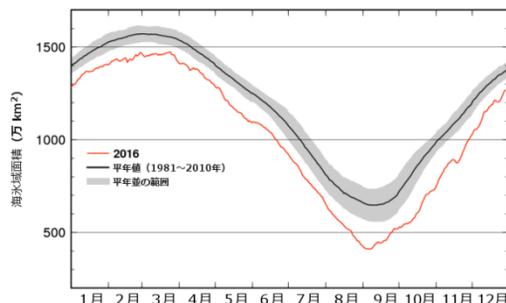
アジアモンスーン全体の活動度は、8月までは概ね平年並、9月以降は平年より活発でした。



6~9月平均の外向き長波放射量  
寒色は積雲対流活動が平年より活発なことを示す

## 北極の海水 (2.8) ・北半球の積雪 (2.9)

北極域の海水面積の年最小値は、1979年以降で2番目に小さくなりました。2月の北半球の積雪日数は平年より少ない地域が多くなりました。



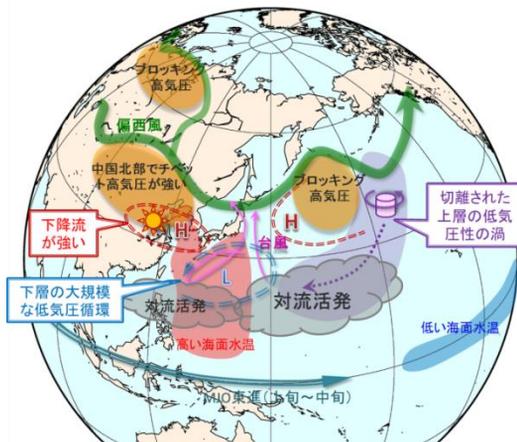
北極域の海水面積

## トピックス 2016年8月の日本の顕著な天候 (3.2)

2016年8月は西日本で中旬を中心に厳しい暑さとなった一方、北日本では記録的な多雨となりました。

フィリピン付近の活発な対流活動と、中国北東部付近でのチベット高気圧の強まりに対応して、下降流が強まった西日本では高温となりました。

また、日本の南東海上の対流活発域で相次いで発生した熱帯低気圧（台風）は、太平洋高気圧の縁辺を回るように日本の東海上を進み、北日本に度々大雨をもたらしました。



顕著な天候に関連する大気の流れの模式図